2022 年度　日本結晶学会　第 3 回評議員会　議事概要

日時：2022 年 11 月 25 日　14:30 ~ 17:30

形式：関西学院大学（大阪梅田キャンパス）での対面と Zoom によるオンライン会議のハイブリッド形式

出席者（途中入退室者含む）：五十嵐教之 [a], 植草秀裕 [a], 海野昌喜（庶務幹事），岡崎伸生 [a], 上村みどり [a], 神山崇 [a], 栗栖源嗣 [a], 小島優子 [a], 小松一生（監査役）[a], 清水敏之 [a], 菅原洋子 [a], 杉本邦久（広報幹事），杉山和正 [a], 関根あき子 [a], 千田俊哉 [a], 千田美紀 [a], 藤間祥子 [a], 中川敦史（会長）[a], 中塚晃彦（編集幹事），西堀英治 [a], 禾 晃和（会計幹事）[a], 橋爪大輔（行事幹事）[a], 濵田麻希（男女共同参画幹事），平田邦生 [a], 宮原郁子 [a], 森吉千佳子 [a], 姚 閔 [a], 山縣ゆり子（監査役），山田悠介（情報幹事），山本雅貴 [a], 和田 啓 [a]

委任状出席者※：河野正規 [a], 南後恵理子 [a], 樋口芳樹 [a]

欠席者※：足立伸一 [a], 井上 豪 [a]

議長：中川敦史 [a]（会長）

議事録作成者：海野昌喜（庶務幹事）

※2022 年度第 3 回評議員会（定数 30　構成員は [a] で表記）：

出席 25，委任状出席 3，欠席 2

（五十音順、敬称略）

関西学院大学大阪梅田キャンパスでの対面会議と Zoom によるオンライン会議併用のハイブリッド形式にて開催し、音声に問題なく議事進行に支障がないことを確認した。上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として禾晃和評議員が選出された。

議事

報告事項

1.　幹事報告

1-1.　庶務幹事報告　（海野庶務幹事）

2022 年 7 月 6 日から 2022 年 11 月 11 日までの会員異動状況が報告された。2022 年 11 月 11 日現在の会員数は 1053（個人会員 1033 名、賛助会員 20 社）である。入会者 17 名の入会申込書および会費滞納者のリストを Zoom の画面共有機能で評議員に共有した。また、9 件の協賛依頼が報告された。

1-2.　会計幹事報告　（禾会計幹事）

2022 年度の予算執行状況が報告された。一般会計の支出では、国際会議招致のための積立金 100 万円を国際会議口に振り込み済みである旨、報告された。

2022 年度の特別会計のリガクファンド口については AsCA2022 への参加助成

（2 名分・計 20 万円）への支出がすでに執行されている旨、報告された。
また、2023 年度の予算案について説明があった。

1-3.　編集幹事報告　（中塚編集幹事）

発行済みの学会誌 Vol. 64 の 3 号について報告があった。また、Vol.64 の 4 号について、12 月 15 日の発行に向けて準備が進んでいる旨の報告があった。

1-4.　行事幹事報告　（橋爪行事幹事）

2023 年に計画している対称性・群論トレーニングコースについて説明があった。また、2022～2024 年度の年会の計画について説明があった。2023 年度の年会では、シンポジウムを公募することが説明された。

1-5.　情報幹事報告　（山田情報幹事）

結晶学会 HP の更新（記事の掲載、役員の更新、リンク切れへの対応）とアクセス数の分析について報告があった。また、第 13 回化学情報協会総会（2022 年 6 月 21 日）に対して委任状を提出した旨、報告された。

1-6.　**広報幹事報告　（杉本広報幹事）**

メール配信について報告があった。都度の依頼については「日本結晶学会ニュース」として配信している旨が報告された。また、毎月 1 回 15 日にメールマガジンを配信している旨、報告された。その中で賛助会員からのお知らせがあった旨、報告された。

1-7.　男女共同参画推進幹事報告　（濵田男女共同参画推進幹事）

男女共同参画協会連絡会の活動報告があった。「2022 年加盟学協会の活動調査」に回答した旨が報告された。また、女子中高生夏の学校に参加したことが報告された。さらに、結晶学会員へ男女共同参画推進委員会からのお知らせをメール配信したことと、2022 年度年会の企画について説明があった。

2.　AsCA 関連　（小松 AsCA 評議員）

AsCA president（2022.11 ~ 2025.12）に栗栖源嗣委員が選出されたことが報告された。
IUCr2023 および AsCA2024, 2025 の会議の日程・予定について報告された。また、2025 年の AsCA が台北と日本の共催に決定したことが説明された。
AsCA MCR (Mid-career researcher) Prizes の新設されたことについて説明された。

3.　日本学術会議関連　（菅原評議員）

3-1.　IUCr での Plenary lecture の講演者の決定と、発表・参加申し込み期限の延期について報告があった。また、日本が総会で 4 票の投票権をもつことから、これを行使するための代表派遣への協力依頼について、説明がなされた。

3-2.　結晶学分科会関連について、IYBSSD2022（持続可能な発展ための国際基礎科学年）に関連して、年会での公開シンポジウムの企画とその後に Web 公開シンポジウム（結晶学会との共催）を予定していることが報告された。また、佐々木園会員（京都工繊大教授）が学術会議の新会員になった旨、報告された。

3-3. 学術会議の動向について、10 月 24 日～26 日に予定されていた学術会議の開催が延期されたことが説明された。

4. 会員による次期（2024・2025 年度）会長候補者推薦・次期（2023・2024 年度）評議員候補者推薦の結果について

WEB 推薦期間：2022 年 10 月 21 日（金）10：00～11 月 15 日（火）17：00

開票：2022 年 11 月 17 日（水）中川会長・禾評議員・海野庶務幹事（オンライン）

有効投票者数：112 名

4-1. 会員投票による次期会長候補：本会細則第 2 章第 5 条第 1 項に従って、10 票以上の得票者で同意の得られた上位 2 名である井上豪（18 票）、杉山和正（14 票）を会員推薦次期会長候補者とした。

4-2. 会員投票による次期評議員候補：本会細則第 2 章第 5 条第 4 項に従って、3 票以上の得票者で上位 15 名である 海野昌喜（19 票）、井上豪（16 票）、関根あき子（13 票）、大原高志（12 票）、松村浩由（11 票）、熊坂崇（11 票）、尾瀬農之（11 票）、森吉千佳子（10 票）、岩田想（9 票）、田中良和（9 票）、尾関智二（9 票）、杉本邦久（8 票）、和田啓（8 票）、玉田太郎（8 票）、藤間祥子（7 票）を会員推薦次期評議員候補者とした。次点は原田潤（7 票）であったが、細則に従い年少者を候補者とした。

審議事項

1. 会員異動について

入会 34 件は満場一致で認められた。

2. 協賛・共催等依頼について

協賛の依頼 9 件について、満場一致で認められた。

3. 2023 年度予算について

満場一致で認められた。また、IUCr の参加助成の募集をすぐに開始することが認められた。

4. 評議員による次期会長候補者・次期評議員候補者の推薦について

評議員推薦による次期度会長候補者・次期評議員候補者の選出のための投票が行われた。

投票方法：Google Forms を利用したオンライン投票

投開票日時：2022 年 11 月 25 日（金）

開票者：山田悠介情報幹事

4-1. 評議員推薦による次期会長候補者：本会細則第 2 章第 5 条第 2 項に従って、評議員による推薦投票を行い、最多得票者の足立伸一（12 票）を評議員推薦次期会長候補者 1 名とした。なお、評議員会後に本人から同意を得た。

4-2. 評議員推薦による次期評議員候補者：本会細則第 2 章第 5 条第 5 項に従って、評議員による推薦投票を行い、佐々木園（12 票）、原田潤（10 票）、小島優子（10 票）、宮原郁子（9 票）、橋本博（7 票）、坂田修身（7 票）、沼本修孝（7 票）、藤井孝太郎（7 票）、

清水敏之（6 票）、千田俊哉（6 票）の 10 名を、評議員推薦次期評議員候補者とした。

5. 学会賞選考委員会規程の改定について

中川会長から、学会賞選考委員会規程の改定案が提示され、議論した。選考委員の委嘱／任期終了の時期、選考委員氏名の公表時期、および必要に応じて移植する審査委員の資格と氏名非公表について規程の改定を行った。規程の文言については評議員会でメール審議することになった。

6. 国際会議参加助成の応募資格について

国際会議参加助成への応募資格に関わり、募集要項の文言の問題点の指摘があり、修正の可否が議論され、文言の修正はしないことが満場一致で承認された。応募時点で会員であればよいことが確認された。

7. 国際会議参加に関する学生からの相談について

海野庶務幹事から、学生会員より国際会議に参加する際の不安についての相談があったことが報告されたが、学会としては特に対応しないこととした。

8. インボイス制度導入への対応について

禾会計幹事からインボイス制度についての説明があり、結晶学会は免税事業者に留まることが満場一致で承認された。

9. 会長の推薦による次期評議員候補者の選出について

本会細則第 2 章第 5 条第 6 項に従って、中川会長が、吾郷日出夫、中塚晃彦、杉山和正、山下敦子、濱田麻希の 5 名を次期評議員候補者として選出し、満場一致で承認された。以上により、次期会長候補者 3 名、次期評議員候補者 30 名が確定した。

10. 次回評議員会日程について

海野庶務幹事より、次回の評議員会は 2023 年 4 月 1 日（土）13:30 ~ 16:30 に東京大学を拠点としたハイブリッド形式で行う予定であることが告げられた。詳細は評議員にメール等で告知される。

以上